

○ 就職活動における保護者と学生の関わり方

株式会社マイナビが実施した2020年3月に卒業した大学生への調査によると、78.1%の学生は、両親や親族に就職の「相談をしたことがある」と回答していますが、主に相談した親族は、「母親」が63.5%を占めています。

両親や親族からのアドバイスが就職活動に「大きく影響する」「多少影響する」と回答した学生は78.3%、両親や親族からのアドバイスを受けて地元就職を「強く意識するようになった」「多少意識するようになった」と回答した学生は64.7%と、両親のアドバイスがお子さんの就職活動の大きな力になっています。

これまでに両親や親族に就職の相談をしたことはありますか。

相談したことがある	78.1%
相談したことがない	21.9%

主に親族の誰に相談しましたか。

父親	25.9%
母親	63.5%
兄弟姉妹	8.1%
祖父母	1.2%
祖父母以外の親戚	1.4%

両親や親族からアドバイスを受けたことが、あなたの就職活動に影響すると思いますか。

大きく影響すると思う	20.6%
多少影響すると思う	57.7%
あまり影響しないと思う	19.5%
全く影響しないと思う	2.2%

両親や親族からのアドバイスを受けて地元(Uターン含む)就職に対する考え方はどう変わりましたか。

強く地元就職を意識するようになった	20.2%
多少地元就職を意識するようになった	44.5%
あまり地元就職を意識しなくなった	24.3%
全く地元就職を意識しなくなった	11.0%

2020年卒マイナビ大学生 Uターン・地元就職に関する調査

○ 青森でいきいきと活躍している先輩たち

青森には仕事がないのでは？ そんなことはありません。

県内企業に就職して、仕事に、プライベートに、スキルを生かしながら、青森でいきいきと働いている先輩たちもたくさんいます！！



お金では測れない“心の豊かさ”と“住みやすさ”を実感する青森の暮らし

いしはし のぶなか

石橋 永伸 さん

株式会社スズキ自販青森 十和田営業所 2017年入社
三戸郡南部町出身・在住

初めて知った親の本音。 涙がこぼれそうになったあの日...

高校卒業後は、宮城県の大学に進学しました。大学卒業後は、地元で就職したいという希望はあったものの、宮城県内での就職も考えていました。そんな時に、たまたま実家をリフォームすることになり、親に「おまえの部屋はどうしたらいい？造った方がいいのか？」と聞かれました。それがきっかけで、自分はどこで働き、どこで暮らしたいのかという具体的な将来像について考えるようになりました。その結果、やはり自分は、大好きな家族や親戚、昔からの友人や仲間がたくさんいる青森で暮らしたい、そこで働いて生きていきたいという気持ちが強くなっていきました。

両親は、子どもの意思を尊重してくれるので、進学や就職についても自由に決めさせてくれました。でも、私が「大学を卒業したら地元で就職するから」と両親に告げた時、母が小さい声で「あ...良かった...」とささやいたのです。そんな母のささやきを聞き、思わず涙がこぼれそうになりました。普段は思っていることを口には出さない母ですが、こんなに息子のことを思っていたんだ...やはり子どもが近くにいると安心するんだと、初めて親の本音に触れた気がしたからです。この言葉を聞いて、「絶対に青森に帰ろう！」と決めました。

実家では5人と1匹暮らし。 青森は住環境も良く、人も犬ものびのび暮らせるのが魅力！

スズキ自販青森に入社後は、十和田営業所に配属になりました。現在、新車販売の営業を担当しています。スズキの車を取扱ってくださっている販売店様に車を卸したり、販売店様を通して新車を販売するのが主な仕事です。実家の南部町から十和田の営業所までは近いので、通勤も苦になりません。

現在、実家には私と両親、兄弟夫婦の計5人と、犬のパピヨンがいます。一人暮らしのアパートではペットを飼うのは難しいですが、実家だと家族全員で世話ができるので安心です。都会に比べて、青森は住環境にも恵まれているので、犬も自宅の敷地内をのびのびと走り回っています。それを見ながら家族と一緒に笑ったり、何気ない会話をしながら過ごす時間も多いです。私自身もそんなひとときに癒されていますし、親も安心していているのかなと思います。

朝野球チームとの交流と、父の影響で始めたゴルフ。 地元暮らしをエンジョイ！

小学時代から大学まで野球に打ち込んできたので、地元には昔からの仲間や友人がたくさんいます。現在は、八戸市の朝野球チームに所属しています。今年はコロナの影響でなか

なか集まることはできませんが、試合後には仲間と一緒に懇親会を開いて親睦を深めることもあります。父がゴルフ好きなので、私もその影響で今年7月からゴルフを始めました。コースに出て父と一緒にプレイすることもあり、プライベートの楽しみがさらに増えました。青森に帰ってなければ、こうして父と一緒にゆっくり趣味の時間を過ごすこともなかったので、少しは親孝行できているのかなと同時に帰ってきて本当に良かったと思っています。

私のふるさとの南部町は県内でも果樹栽培がさかんなフルーツ王国で、私も小さい頃は親戚のさくらんぼ園やりんご園の手伝いに行っていました。大学進学で青森を離れる以前は、あまりにも身近な環境すぎてその価値に気づきませんでした。地元に戻り、あらためて青森の果物や野菜のおいしさを実感しています。

住み慣れた青森で、何かあれば相談できる家族や親戚、友人が近くにいる環境で暮らせるのは本当に心強いです。県外に就職した友人からは、「人ごみや満員電車に疲れることもないし、ストレスがなさそう」と羨ましがられます。

一度県外に出たからこそ感じる、 お金には代えられない地元の価値

よく、「青森は賃金が安い」と言われますが、首都圏での暮らしは物価も高く支出も多いので、いちがいに比較できないと思います。青森の住みやすさや、そこで暮らすことで生まれる心の豊かさはお金では測れないのではないのでしょうか。プラスマイナスで考えても、地元の方が絶対にプラスだと思います。私も一度県外に出たからこそわかるのですが、家族や大切な人とのつながりのなかで暮らしたり、働くことができるのはとても幸せなことです。今、県外の大学へ進学や就職を検討しているお子さんをお持ちの保護者の方には、ぜひ、お子さんがそばにいる環境を思い浮かべてほしいと思います。大切なお子さんがそばにいる状況は、言葉では言い表せない安心感があるはず。ぜひ、地元就職を勧めてほしいと思います。

石橋さんの保護者から

大学卒業までは本人がやりたいと言ったことには反対もせず、社会勉強と思い、自由にやらせておりました。ただ、就職だけは地元でしてほしいと願っておりましたので、本人から「就職は地元です」という言葉を聞いたときは本当に嬉しかったです。

就職活動中は好印象を持ってもらえる様な話し方や笑顔などを一緒に練習し、アドバイスしました。

まずは子どもとんでも相談し合えるように距離が近くなるのが大事だと思います。これから始まる就職活動で子どもも保護者の方も不安になると思います。負けないう、家族で支えてあげてください。